

9月12日 「重陽の節句 一節句の意味一」

皆さんは先週の9月9日が何の日か知っていますか。

重陽の節句と言い、一年間の5節句の一つです。重陽とは重いという漢字と太陽の陽という漢字を使います。

昔から日本や中国では、季節との関係を大切にして、その時々で節句を行い、季節の旬の植物から生命力をもらい、病気や災いに負けないようにしてきました。その5節句との植物ですが、

1番目の節句は1月7日 人日（じんじつ）の節句 七草がゆ

2番目の節句は3月3日 桃の節句 ひな祭りの日 桃の花

3番目の節句は5月5日 端午の節句 こどもの日 しょうぶ湯でも知られている菖蒲

4番目の節句は7月7日 七夕の節句 願い事を付ける笹や竹

そして5番目の節句が9月9日 重陽の節句では菊の花が使われています。菊の花は長生きができる花とも思われ、飾られたり、お酒に菊の花びらを浮かべて飲んだりしたそうです。

昔から、人間は病気や災いと闘い乗り越えようとして、このような節句を大切にしてきました。そこには、人々の力で乗り越えようとする気持ちや思いが入っているのです。また、その季節の旬の植物から生命力のパワーをもらっていたのです。

今の時代は新型コロナウイルスとの闘いですが、昔の人も闘ってきたように、今の時代も人間の力で乗り越えていきましょう。

先週、4年生がプレセカンドスクールに行ってきました。初めての宿泊学習でしたが、時間を守り、友達と助け合い、学年の目標であるエールを送っている姿をたくさん見ることができました。一回り、二回りも成長した4年生、高学年の仲間入りを目指して頑張っていました。次は5年生のセカンドスクールです。